

特集

みやぎ資料室へようこそ



宮城県図書館では、宮城県に関する歴史や文化、産業、文学など、多様なテーマの郷土資料(宮城資料)を積極的に収集し、みなさまにご利用いただくと同時に、資料を保存し、後世にしっかりと伝えていくことを重要な役割のひとつと考えています。今回の特集では、こうした郷土資料を所蔵している「みやぎ資料室」をご紹介します。

利府高等学校の「甲子園初出場ベスト記念誌」(2009年発行)、大崎市鳴子地域水田農業推進協議会の「鳴子の米プロジェクト」(2007年発行)なども所蔵しています。→



宮城資料とは

宮城県図書館では、宮城県を理解する手がかりとなる郷土資料を「宮城資料」と呼んでいます。具体的には以下のような資料を指します。

- ①宮城県及び本県に關係の深い地域を主題とした資料
- ②宮城県出身・在住の人物及び団体の著作
- ③旧仙台領(近世以前)出身またはゆかりのある人物の著作
- ④その他宮城県に關係の深い人物及び団体の著作

⑤宮城県にゆかりのある人物の業績・著作などに関連した資料

- *宮城資料のうち次の資料は、各担当で所蔵しています。
- 新聞や県内大学の研究紀要等…新聞・雑誌室(3階)
- 中学生以下を対象とした資料…子ども図書室(2階)
- CD・ビデオ・DVD等の視聴覚資料…音と映像のフロア(1階)



資料の収集

宮城資料には、県内の自治体が発行した行政資料、研究機関の報告書や各種団体・個人による出版物など、通常の流通ルートに乗らない出版物が数多く存在します。これらの出版情報も収集し、網羅的に収集できるようつとめています。本や資料を発行した際にはぜひご連絡ください。

また、宮城資料は原則として3部収集しています。これは、館内での閲覧用・市町村図書館等への貸出用・保存用としているためです。



資料の利用

宮城資料は一般的に発行部数が少ないため、発行後しばらくすると入手が困難になるものが多く、また本館だけが所蔵している資料も多数あります。貴重な資料を永く次代に残すことも本館の役割です。上記の理由から、宮城資料は館内でご利用いただくこととしておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。



貴重資料の保存・利用

みやぎ資料室では、約5万7千点に及ぶ古典籍・貴重書を所蔵しており、中には『坤輿万国全図』のように国の重要文化財に指定されている資料もあります。こうした貴重書は、温度・湿度を一定に保った貴重書庫で大切に保管されています。

古典籍の利用は、原則としてマイクロフィルム、複製本など代替資料となっています。すべてに代替資料があるわけではありませんので、ご利用の際は事前にお問い合わせください。



「郷土関係論文目録検索システム」をご活用ください

本館では、平成19年3月から「宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録検索システム」を本館ホームページ上で公開しています。このシステムは、本館及び県内公共図書館が所蔵する資料に含まれる、宮城県に関する記事・論文約2万件をデータベース化することにより、検索を容易にしたものです。

例えば、「キーワード」欄に「岩手・宮城内陸地震」と入力して検索すると、地震の発生から、1年後の現在に至るまでのさまざまな記事が、どの資料に収録されているかを知ることができます。

・「宮城県内公共図書館所蔵郷土関係論文目録検索システム」URL
http://www.library.pref.miyagi.jp/cgi-bin/kyodo/kyodo_ref.cgi



検索システム画面



宮城資料のいろいろ

● 県史・市町村史誌

県内の歴史について調べる際に、基本的な手がかりとなるのが県史・各市町村史誌です。『桃生郡誌』など、平成の大合併以前の資料も含め、明治期から現在までに刊行された県史・市町村史誌を網羅的に収集しています。



● 地形図

国土地理院発行の5万分の1、2万5千分の1地形図については、宮城県域分は最新のものをすべて所蔵しています。また、過去に発行された地形図も所蔵していますので、現在の地形図と比較することも可能です。



● みやぎゆかりの人の著作

恩田陸、宮藤官九郎など、現在活躍中の宮城県出身の人物の著作のほか、伊坂幸太郎など宮城県在住作家の作品なども収集しています。また、宮城県は数多くの芸術家を輩出している県として知られていますが、石ノ森章太郎(漫画家)や平間至(フォトグラファー)の著作も所蔵しています。



宮城資料に関するお問い合わせは…

宮城県図書館 3階 みやぎ資料室
電話 022-377-8483
FAX 022-377-8494